

小田原市の教育の重点

官民連携

学ぶ力

豊かな心

健やかな体

関わる力

誰一人取り残さない

社会力の育成

地域資源を生かす

幼稚園教育目標 温かな心でかかわり、一緒に過ごす楽しさが味わえる子どもの育成

幼稚園像

・元気で笑顔にあふれ、学ぶ楽しさを味わえる幼稚園

教師像

・教育への熱意を持ち、豊かな人間性を備え、組織人として機能する教師

子ども像

・相手のことを大切にして、仲良く過ごすことができる子ども

幼稚園らしさにあふれた伸び伸びと過ごせる園づくり

★地域や様々な人と関わりをもつ

・異年齢【小学校・中学校】との交流学習の定期化

★地域の環境を遊びや生活に活用したり、利用したりし、社会とのつながりを意識する

・大型モール、小売店【地域資源】、等との体験学習の定期化

★家の人やボランティアとの関わりを深め、感謝の気持ちをもつ

・感謝を表す活動の場と機会づくり

★身近な動植物との接し方を考え、大切にすることを大切にする気持ちをもつ

・年間栽培プランの作成と実践

★話すこと、聞くことのおもしろさを感じ、楽しむ

・朝の会（会話）の活用

・ボランティア（読み聞かせ）の活用

★絵本や物語等に親しみながら豊かな言葉や表現を身に付ける

・係活動の推進

・保育室コーナーの活用

・絵本屋・図書コーナー整備

★あいさつを進んでする

・登園あいさつ当番活動の推進

・保育室ミニあいさつ当番の設置

★言葉を使う楽しさを知る。

・よびかけ・歌・カルタ、英語等の体験

★身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ

・園内研究の充実・推進

★友達と共通の目的に向けて考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げる

・関わり合う場や機会の設定

★友達と折り合いを付けながらきまりをつくったり、守ったりする

・運動会・生活発表会の充実と推進

★興味や関心を高め、未知へのチャレンジを楽しむ

・スポーツ大会や、音楽コンサート等様々な文化・分野との交流

社会に開かれた教育課程

カリキュラムマネジメント

指導の手立て

\*全体を見通した年間教育プランづくりと、その推進のための職員間の効果的な連携づくり

- 1 遊びを中心とした生活を通して、一人ひとりの幼児の発達やその子らしい行動の仕方や考え方などを理解して、それぞれの特性や発達に応じた総合的な指導を行う。
- 2 2年間の園生活の中で、幼児の主体的な活動が十分確保されるようにすると共に、豊かな体験の中で発見したり、試行錯誤したりし、学ぶ力の基礎を培う。
- 3 幼児が共に過ごす楽しさを味わったり、互いに影響し合ったりする等、集団のもつ教育力を十分に活かすことによって、発達が促されるようにする。
- 4 園と家庭との信頼関係を基盤に互いの役割を見直し、連携を取り合って、教育効果を高める。
- 5 小学校教育との円滑な接続を図り、幼稚園の教育の成果が小学校へつながるようにする。
- 6 地域との連携を広め“地域の中の幼稚園づくり”を推進する。
- 7 子どもの人権、個人情報や危機管理に対する意識をもって保育に当たる。